

## ■ 支部だより ■

### 東海・近畿・北陸支部のうごき

昭和54年度支部総会は、和歌山県公害技術センター岩崎一夫所長のお世話で、昭和54年11月15～16日に和歌山県勝浦の公立学校共済組合南紀保養所で開催された。53年度金沢における総会の時以来、石川県一石田所長、滋賀県一寺元所長、京都府一藤原所長、大阪府一高宗所長、大阪市一松宮所長と、5人の所長のお顔が新たになった。その間、大阪府公害監視センター・今来所長が54年7月に死去されるという悲しい報せがあった。

和歌山県生活環境局次長 坂本清氏のご挨拶を兼ねた和歌山県公害行政の概要のお話があり、吉本会長より全国協議会活動の説明があり、議事に入った。

#### 1. 環境影響評価制度

支部事務局よりアンケートにより、制度の有無、条令・要綱別、研究機関のかかわり方に対する考え方、研究機関の参加例等につき意見を求め集計した。要綱のあるのは、三重県、兵庫県、名古屋市、神戸市の2県2市であるが、その有無にかかわらず、実際には評価活動は実施されつつあり、研究機関としても積極的に体制を整え

参加しつつあるのが現状である。

#### 2. 生物学的調査研究活動

人間に対する影響、人間を含まない生態系に対する影響等に関し、研究実施中の課題、問題点をアンケートしてまとめた。大阪府が人間に対する影響を実施し、福井、岐阜、愛知、三重、京都府、兵庫、名古屋市、大阪府が水棲生物について実施している。

#### 3. 琵琶湖富栄養化防止条例に関連して公共水域の水質の問題点

滋賀県寺元所長より概要説明があった。

#### 4. レーザ光線の大気汚染研究への応用例

三重県村田所長より研究成果の概要説明があった。

#### 5. 公害関係機関の実態調査について

吉本会長ならびに横浜市公害研究所 佐野秀哉先生の説明があった。

懇親会と見学——総会後懇親の宴を楽しく過し、翌日は、勝浦・那智・新宮と見学して解散した。

(支部長 渡 辺 弘)